

2021年7月30日

日本放送協会  
会長 前田 晃伸 様

一般社団法人 奈良県聴覚障害者協会  
理事長 村上 武志  
(公印省略)

## 緊急要望書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、私どもきこえない・きこえにくい人の福祉向上にご理解ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴協会が東京2020オリンピック開会式を放映された際、手話言語通訳が付与されていなかったことについて、多くのきこえない・きこえにくい仲間たちから、落胆また失望と不満の声が寄せられています。

貴協会におかれましては、障害者権利条約及び障害者差別解消法の趣旨に基づき、きこえない・きこえない人が自ら選択する意思疎通手段により情報を受ける権利やテレビ番組等も文化的な活動を享受する機会の拡大推進をお願いしたく、下記の通り要望いたします。

### 記

#### 1. 東京2020オリンピック閉会式及びパラリンピックの開閉会式を放送する際には、手話言語通訳を付与してください

障害者権利条約の第二十一条（表現及び意見の自由並びに情報の利用の機会）及び第三十条（文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツへの参加）では、障害のある人が自ら選択する意思疎通手段により情報を受ける権利や、利用しやすい様式を通じて、テレビ番組等その他の文化的な活動を享受する機会を有することが保障されています。また、障害者差別解消法では、視覚・聴覚障害者が利用しやすい通信・放送サービスの提供等、合理的配慮を的確に行うための環境の整備として実施に努めることとしています。法・条約の趣旨に基づき、東京2020オリンピック閉会式及びパラリンピックの開閉会式を放送する際には手話言語通訳を付与してください。

#### 2. 東京2020オリンピック閉会式及びパラリンピックの開閉会式や日本国外で行われる世界的なスポーツイベントの放映における手話言語通訳の付与体制をジャパンコンソーシアムの中継体制内に構築してください

東京オリンピック及びパラリンピック及び日本国外で行われる世界的なスポーツイベントの放映において、ジャパンコンソーシアムの中継体制に手話言語通訳付与体制を構築し、それを貴協会と民放連加盟放送局がともに活用できるようにしてください。

以上